10月のイベントカレンダー

1	日	休館日
2	月	休館日
3	火	13:30　日本語サロン
4	水	
5	木	18:30　日本語会話教室（夜間）
6	金	10:00　日本語会話教室（午前）
7	土	
8	日	10:00　子ども日本語ひろば
9	月	休館日
10	火	13:30　日本語サロン
11	水	
12	木	JICA青年研修事業受入れ（～24日） 18:30　日本語会話教室（夜間）
13	金	10:00　日本語会話教室（午前）
14	土	
15	日	休館日
16	月	休館日
17	火	13:30　日本語サロン 18:30　幹事会
18	水	18:30　ワールドツアー中南米編
19	木	18:30　日本語会話教室（夜間）
20	金	10:00　日本語会話教室（午前） 18:30　中国荊州市医療研修生送別会
21	土	
22	日	10:00　子ども日本語ひろば
23	月	休館日
24	火	13:30　日本語サロン
25	水	
26	木	18:30　日本語会話教室（夜間）
27	金	10:00　日本語会話教室（午前）
28	土	10:00　ハローワールドクラブ 13:30　FINE発送作業
29	日	
30	月	休館日
31	火	

お手伝いお願いします

情報紙FINEの発送作業のお手伝い（封づめ、糊付けなどをしてみませんか。当日直接お越しください（申込不要）。
日　時　10月28日（土）13:30～（場所：当協会）

会津若松市国際交流協会
〒965-0871　会津若松市栄町2-14
レオクラブガーデンスクエア5階
TEL 0242-27-3703　FAX 0242-27-3704
ホームページ　http://awia.jp　メール mail@awia.jp

高校生グローバル人材育成プロジェクト 成果報告会

グローバル人材育成プロジェクトに参加した会津地方の高校生の成果発表会です。世界各国で取材を行ってきた平田氏による講演会も同時開催します。「グローバル」に興味のある方、ぜひご来場ください。
日　時　10月15日（日）14:00～16:10
場　所　会津大学　大講義室
講演会　「世界の現場から伝える意味」
　　朝日新聞論説委員　平田　篤央　氏
※入場は無料、参加申込みは不要です。
主催・問合せ　新生日本・再生故郷実行委員会（市企画調整課内）
TEL 0242-39-1201 メール kikaku@tw.citiy.aizuwakamatsu.fukushima.jp

お知り合いの外国人にお知らせください クッキングセミナー

会津の伝統的な食材のことを知り、それらの食材の機能性を生かした和食メニューをつくります。試作・試食後は意見交換を行います。
日　時　11月25日（土）10:00～14:00
場　所　会津大学短期大学部食物栄養学科　調理実習室
対　象　市内在住の外国人（高校生以上）12名程度
申込み締切り　10月31日（火）17:00まで
申込み・問合せ　会津大学短期大学部食物栄養学科　左 一八
　　Eメール　hidari@jc.u-aizu.ac.jp　FAX　0242-37-2427

会津大学公開講座

■英語、グローバリゼーション、アジアの若者たち
日　時　10月14日（土）10:00～11:00　※受講料は無料です
場　所　会津大学研究棟2F　小講義室S7
講　師　センダー・ドヴチン氏　※進行は英語です。
■Let's try 韓国語！
日　時　11月10日（金）、17日（金）18:10～19:40　全2回コース
場　所　会津大学研究棟2F　南ラウンジ
講師名　安田尚子氏、ホウ・ヨンヒョン氏
受講料　1,000円　※中学生・高校生は無料（参加対象：中学生以上）
申込み・問合せ　会津大学事務局　企画連携課　計画広報係
　　TEL 0242-37-2510　メール　cl-planpr@u-aizu.ac.jp

JICAボランティア　秋募集

自分の持っている技術と経験を生かして、開発途上国の人々と共に働きながら国づくりに協力してみませんか。
派遣期間　原則2年　※短期ボランティアもあります。
応募締切　11月1日（水）
※資料請求・応募に関する問合せは、JICA二本松訓練所まで
　　TEL 0243-24-3200　Eメール　jicanjv-bk@jica.go.jp
■10月8日（日）会津大学にて、青年海外協力隊創設50周年記念事業映画『クロスロード』の上映会を開催します（①11:00～、②13:00～）。JICAボランティアの個別相談会も同時開催しますので、ぜひお立ち寄りください。
※上映会に関する問合せは、ふくしま青年海外協力隊の会まで
　　TEL　090-8785-5963　（担当：小熊）

第257号　2017年 10月号

会津若松市国際交流協会 情報紙

FINE

Freedom/International/Necessity/Experience

たべる・あそぶ・まなぶ ワールドツアー

ワールドツアー　中南米編
★フライト案内★　10月18日（水）18:30～20:00

世界各国の文化体験を通じて世界周遊気分を味わうワールドツアー。今年度2回目のフライトは、中南米です。当協会は国際協力機構（JICA）の青年研修事業を受託しており、今年はエルサルバドル、キューバ、ドミニカ共和国、パナマ、ペルー、ボリビア、ホンジュラスの7ヵ国から観光分野に携わる青年10名を受入れることとなりました。その研修員達に自国の紹介をしてもらいます。

場　所　会津稽古堂3階　研修室2
ツアーコンダクター　JICA青年研修事業参加研修員
　　※通訳が付きます。
内　容　中南米各国の文化紹介、交流など
定　員　25名　※参加料は無料です
申込み　10月18日（水）午前中まで当協会へ

医療研修生送別会

中国荊州市医療研修生　送別会

会津若松市の友好都市中国荊州市から5月に来日し、竹田綜合病院で医療技術研修を行っていた研修生2名が、半年間の研修を終え10月末に帰国することになりました。そこで、ささやかな送別会を開催します。この研修中にお世話になった皆様、研修員のこれからの活躍に期待を寄せている皆様、ぜひご参加ください！

【荊州市医療研修生】
馬 莉 さん ／荊州市中心病院 神経内科
朱 燕妮 さん／荊州市第一人民病院 眼科
日　時　10月 20日（金）18:30～
場　所　山鹿クリニック内　レストランタイム
参加料　3,500円
申込み　10月13日（金）まで当協会へ

国際理解講座

国際理解講座　～ あなたにとって豊かさとは ～

皆さんにとって豊かな社会とはどんな社会でしょうか。SDGs（持続可能な開発目標）に触れながら、国際協力から見える豊かな社会について一緒に考えてみませんか。参加料は無料です。

日　時　11月12日（日）14:00～16:00
場　所　会津稽古堂　研修室1
講　師　認定NPO法人IVY理事　阿部真理子さん
定　員　30名　（中学生以上）
申込み　11月11日（土）まで当協会へ

参加者募集

ハローワールドクラブ

市内の小学1～6年生を対象に、毎月1回、国際理解のクラスを開催しています。
今回はブラジルの文化紹介です。ゲストは荒井ソニアなおみさんです。ぜひご参加ください。

日　時　10月28日（土）10:00～11:30
場　所　会津稽古堂3階　研修室1
参加料　700円
申込み　10月27日（金）まで当協会へ

※各事業実施に伴う写真撮影及び掲載許可について（お願い） 事務局が皆様の活動の様子を撮影し、情報紙やホームページ等に掲載する場合があります。掲載されたくない場合はお申し出ください。

国際交流深イイ話
第58回

Yokono Yukiko
横野　由起子　さん

当協会日本語ボランティアの横野さん。現在、ノースカロライナ大学シャーロット校で日本語教師として大活躍中です。
外国で仕事をするってどんな感じ？生活する中で戸惑うことも多いのでは．．．？

【住居について】

アパートを日本にいる間に決められず、現地についてから5日間先輩教師の自宅に宿泊させて頂きながら探しました。先輩には携帯電話の取得から銀行口座の開設まで手伝って頂き、今でも本当に感謝しています。
一昨年までは職場の同僚とルームシェアをしていましたが、昨年夏からは大学から徒歩25分ほどのアパートで一人暮らしを始めました。通勤は主に自転車で、雨の日は徒歩と大学内を走るシャトルバスを使用します。

【仕事について】

出勤時間は学期によって異なりますが、例えば午前8時の授業がある時は7時過ぎに自宅を出て教え、お昼休憩をはさんで午後の授業、学生や職員とのミーティング、採点、次の授業の準備をします。

昼食はお弁当と水を持参して自分のオフィスで食べます。帰宅はだいたい午後6時半頃で夕食後は個人メールのチェックなどをします。食事は殆ど自炊です。残業については、職場の方は皆さん家族との時間を大切にしているので、基本的に夜遅くまでオフィスで仕事をしている人はいません。

私の職場は外国語学部なので、多言語多文化の珍しい環境にあると言えます。日本語科は日本社会と似ているかもしれません。お互い意見は出しますが、先輩方には丁寧な応対を心掛けます。

他の先生たちとは授業の曜日や時間が違うので、普段たくさん話をすることは叶いませんが、日常の事、授業のことを立ち話することは多いです。でも学期末にはポットラックパーティがあり、ここぞとばかり沢山おしゃべりをしながら多国籍料理を楽しみます。

最近、日本の旬な情報についてあまり触れていない学生が多いような気がするので、インターネットで調べて提供するようにしています。特に日本のテレビコマーシャルはストーリー性があり、言葉遊びを含むものがあるので見せることが多いです。

↑ 前列一番右が横野さんです。生徒さんを連れて参加した、シャーロット市日本人会主催の盆踊り大会での写真です。

仕事で感動することは、日本から遠く離れた米国で一生懸命日本語を勉強している学生の姿を見ることと、日本留学から帰国した学生の成長ぶりを見ることです。それから、物事の楽しみ方をよく知っている学生の創造性にはいつも驚かせられます。

日本語教師は私にとって夢が叶った天職です。苦労も多いですが、続けられる限りは頑張りたいと思います。

本学では歴史を中心に学ぶ研修旅行が毎年3月にあり、2018年はAWIA（会津若松市国際交流協会）のご協力のもと、会津若松市まで足を伸ばすことになりました。
私の故郷会津で学生が貴重な体験をさせて頂くと思うと、感慨深いものがあります。（横野）

在住外国人による ザ・日本

今回は、6年前まで6年間会津若松市に住み、今は故郷であるイギリスのガーンジー島に住む**アラン・ネル**さん。
アランさんのザ・日本、前回は「こたつ」でした。
今回は「ポット」です！

日本のポットは欧米のものとはだいぶ違います。

欧米では電気ケトルを使います。背の高い水差しのようです。水を沸騰させますが、温かさを保つことはできません。すぐに使わなければ冷めてしまいます。日本の電気ポットは魔法瓶の機能もあり、温かさを保つことができます。

私が思うに、これは日本の文化に繋がりがあるのではないでしょうか。

日本ではお客様が来たらすぐに温かい飲み物とお菓子を出す習慣があります。日本の電気ポットからはいつでも温かいお湯が出て、お客様を待たせることなくすぐに温かい飲み物を出せます。
欧米の家では、お客様に温かい飲み物を求められることはないです。滞在時間が短ければ飲み物は出しません。しばらくの間いるようであれば、飲み物を出します。

この文化の違いが、お湯の必要性の違いではないでしょうか。欧米では、長くいるお客様にはお茶を出そうとしてからお湯を沸かし始めます。沸騰するのを待つことを気にする人はいません。

モコモコの家族になろうよ！
第4回

この夏、パラオ共和国のとっても愛らしい女子中学生2人が我が家にやってきた。

ホスト役は中3の娘。Jadeは中2、Favianは中3で同世代。
長男（25歳）、長女（19歳）も一緒に過ごせたので、賑やかな7人家族になった。

まず、磐梯青少年交流の家でのウェルカムパーティーで自己紹介やコミュニケーションゲームをして距離が縮まった。みんなでランチを済ませてから、ホームステイ開始。
鶴ヶ城を観光した後、アピタに行った。彼女たちの眼はかわいい雑貨店の品々に釘付けだった。娘たちが2人に寄り添い、一緒にお店を見て回り、キャッキャと楽しげだった。お気に入りのものを購入し、日本のスーパーマーケットを体験し、夕食はみんなで手巻き寿司を作った。これもホームステイの楽しみの1つだ。一緒に作業をしながら、おしゃべりが弾む。

大丈夫（ダイジョウブ）が通じて、日本語がパラオ語になっていることに子ども達がびっくり！ パラオ語と日本語の共通の言葉をたくさん発見した。「センプウキ」、「デンワ」、「デンキ」、「オムスビ」、「ベントウ」などなど。大笑いしたのは、食後にジェンガやトランプで遊んだ時のじゃんけんで、私達が「じゃんけんぽん」て言うのと同時に彼女らが「アイコデショ」と言った。パラオでは「ジャンケンポン」が「アイコデショ」なのだ。ついでにお父さんがビールを片手に「ツカレトール」と言ったら、「なんで知っているの？」という顔の2人。スマホで今調べたんだけどね。

そんなこんなで、日本語がパラオ語になっていることがとても興味深くておもしろかった。パラオと日本の歴史も学んだ。
卓球とボウリングのリクエストに答え、思いっきり遊んだし、武家屋敷でお姫さまの恰好も体験した。お別れパーティーでは、ミクロネシアの子ども達の感謝の歌や踊りに心打たれ、この出会いに改めて喜び、感謝した。いつかパラオに行ってみたい。

たったの1泊2日だったが、私は彼女たちの日本のママのよう。今はFacebookやmessageで近況を知らせてくれている。